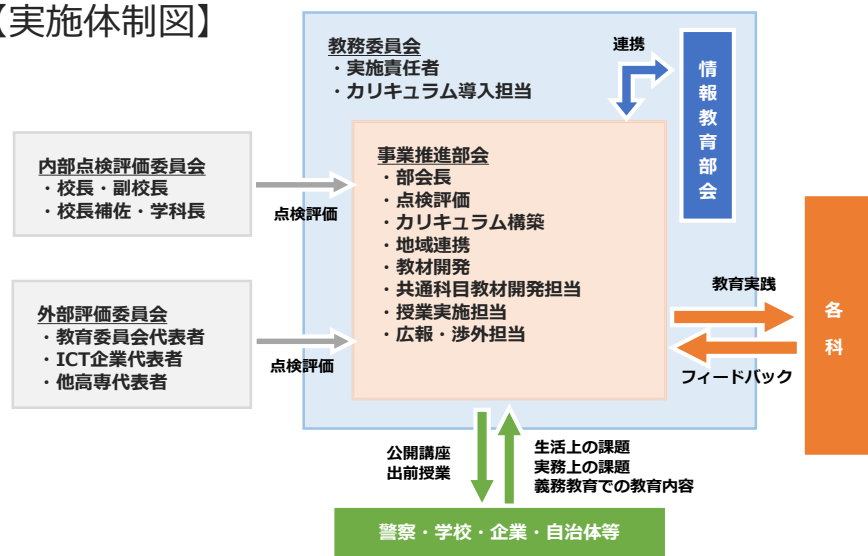


【取組の目的、内容】

地域の情報セキュリティレベル向上及び産業を情報セキュリティ面から支える人材を輩出するために、県警察を中心とする産官学連携を通して、情報セキュリティに長けた実践的な対応力・教育力を有する学生を育成することを目的とする。

実習中心の教育によって、身の回りのICT機器及び基幹ネットワーク機器を安全に運用できる実践力を養うとともに、他者へ情報セキュリティ技術を伝える指導力・教育力を養う。

【実施体制図】



【工程表】

平成30年7月～	産学官連携体制構築 中学生卒業時の知識・技術の調査 生活上・実務上の課題の収集
平成30年10月～	カリキュラムの設計 教育教材の開発 ・家庭用ネットワーク機器演習 ・基幹ネットワーク機器演習 ・ティーチングスキル 教育試行 ・講師経験
平成31年4月～	教育実践 カリキュラム・教材改善

【成果指標】

- 情報セキュリティ講義等の講師経験者数の増加：0名（H27～H29）→ 5名/年
- 本事業経験学生の満足度評価：4.2以上（5段階評価）



【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- 第4期中期目標期間での学科改組において、本事業のカリキュラムを全学科に展開する。